2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　株式会社エプコ　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2311　　URL　http://www.epco.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役グループＣＥＯ　（氏名）　岩崎　辰之
問合せ先責任者　（役職名）　常務執行役員ＣＦＯ　（氏名）　平川　智久　（TEL）03-6853-9165

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　株主様・機関投資家様・個人投資家様向け

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,175	9.1	290	△1.1	338	3.2	233	△20.9
2025年12月期第３四半期	4,744	13.2	294	10.3	328	77.7	295	250.5

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　246百万円（ 44.7%）　2025年12月期第３四半期　170百万円（ －%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	26.13	―
2025年12月期第３四半期	33.04	―

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	5,344	4,573	85.6
2025年12月期	5,842	4,674	80.0

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　4,573百万円　2025年12月期　4,674百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	14.00	―	21.00	35.00
2026年12月期	―	15.00	―		
2026年12月期(予想)				20.00	35.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,215	15.4	527	40.1	671	39.5	485	14.4	54.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	9,316,000株	2025年12月期	9,316,000株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	396,393株	2025年12月期	363,268株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,947,662株	2025年12月期３Ｑ	8,950,136株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１．（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2026年12月期 第3四半期決算説明会を下記の要領で開催いたします。
【開催日時】: 2026年11月27日（金）18:00-19:00
【形式】　　: オンライン配信（Zoomビデオウェビナー）
【申込方法】: ログミーファイナンスより視聴予約
【URL】　　: 弊社HP(https://www.epco.co.jp/news)にて公開いたします。

開始時間の10分前より、URLの「セミナーリストに追加」ボタン表示が「Zoomで参加」に切り替わります。
「Zoom」をクリックすることでセミナーに参加することができます。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方、資源・エネルギー価格の高騰や為替市場の変動などに起因する物価上昇が長期化しており、中東情勢をはじめとする地政学的リスクや米国政権の政策動向により、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に関連する住宅産業におきましては、建築基準法の改正及び建築物省エネ法の施行の影響を受けた前年との比較においては、新設住宅着工戸数が増加しておりますが、原材料価格・人件費の上昇に起因する住宅価格の高騰や住宅ローン金利の上昇により、需要が低迷することが懸念されており、予断を許さない状況であると認識しております。

このような状況のなか、当社グループは、エプコグループ 中期経営計画 第１フェーズ(2025年～2027年)の２年目に入り、再エネ領域、住宅領域、新規事業領域のそれぞれにおける取組を継続し、社会課題の解決、地球環境の保護と安心できる暮らしづくりに貢献してまいります。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は5,175百万円(前年同四半期比9.1%増)となりました。一方、原料価格の高騰や外注単価の上昇に起因する工事原価の増加及び円安の進行による中国子会社の管理コストの上昇により営業費用が増加した結果、営業利益は290百万円(前年同四半期比1.1%減)となりました。持分法による投資利益を計上したことにより、経常利益は338百万円(前年同四半期比3.2%増)となりましたが、前年同四半期に発生した投資有価証券売却益及び関係会社出資金売却益が当第３四半期連結累計期間においては発生しなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は233百万円(前年同四半期比20.9%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 再エネサービス

当第３四半期連結累計期間は、株式会社ENE'sにおいて太陽光発電及び蓄電池の設置工事やパネル点検工事の請負が好調に推移したことにより、外部顧客への売上高2,040百万円(前年同四半期比24.1%増)となりました。

持分法による投資損益は、国内では、TEPCOホームテック株式会社における日本市場の住宅向け太陽光発電及び蓄電池関連の工事請負が第２四半期以降低調に推移した結果、持分法による投資損益は減益(40百万円、前年同四半期比32.8%減)となりました。他方、海外では持分法適用範囲の変更により投資損益が改善(投資損失10百万円、前年同四半期は投資損失50百万円)した結果、全体として持分法による投資利益は30百万円(前年同四半期比386.5%増)となりました。

他方、原料費・外注費の増加により営業費用が増加した結果、経常利益は190百万円(前年同四半期比12.5%増)となりました。

② メンテナンスサービス

当第３四半期連結累計期間は、既存顧客に対するサービス品質の向上やサービスラインの拡充及び新規顧客開拓に努めた結果、外部顧客への売上高は1,601百万円(前年同四半期比12.5%増)、経常利益は333百万円(前年同四半期比69.6%増)となりました。

③ 設計サービス

当第３四半期連結累計期間は、建築関連の法改正に起因する新設住宅着工戸数の減少の影響に対し、サービス品質の向上やサービスラインの拡充に努めた結果、外部顧客への売上高は1,532百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。また、円安の進行に伴う中国管理コストの増加により、経常利益は219百万円(前年同四半期比23.3%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.4％減少し3,286百万円となりました。これは、主として売上増加に伴い受取手形及び売掛金が221百万円増加した一方で、短期借入金の返済等により現金及び預金が835百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.6％増加し、2,058百万円となりました。これは、主として持分法による投資利益を計上したことにより関係会社株式が40百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.5％減少し、5,344百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて36.8％減少し671百万円となりました。これは主として、株式会社ENE'sにおける受注工事の増加に伴い買掛金が103百万円増加した一方で、返済により短期借入金が500百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5.0％減少し99百万円となりました。これは主として、その他の固定負債が９百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて34.0％減少し、770百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.2％減少し4,573百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益233百万円を計上した一方で、配当金の支払322百万円が発生したことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年7月27日付の「2026年12月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」により公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,821,963	1,986,822
受取手形及び売掛金	716,530	938,355
仕掛品	123,543	190,381
その他	134,476	179,863
貸倒引当金	△306	△9,383
流動資産合計	3,796,207	3,286,040
固定資産		
有形固定資産	477,166	452,731
無形固定資産	27,944	21,745
投資その他の資産		
投資有価証券	239,639	232,071
関係会社株式	716,191	757,077
関係会社出資金	341,162	347,263
繰延税金資産	24,913	23,532
その他	219,257	223,972
投資その他の資産合計	1,541,163	1,583,917
固定資産合計	2,046,274	2,058,394
資産合計	5,842,481	5,344,434
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,481	227,335
短期借入金	500,000	－
未払法人税等	67,844	23,445
賞与引当金	25,706	84,294
その他	345,585	336,234
流動負債合計	1,062,618	671,308
固定負債		
退職給付に係る負債	37,552	38,659
長期未払金	11,360	10,340
繰延税金負債	17,649	21,881
その他	38,410	28,807
固定負債合計	104,972	99,688
負債合計	1,167,591	770,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,232	87,232
資本剰余金	127,545	129,593
利益剰余金	4,123,072	4,034,487
自己株式	△182,404	△210,352
株主資本合計	4,155,445	4,040,961
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,690	54,850
為替換算調整勘定	459,754	477,625
その他の包括利益累計額合計	519,445	532,476
純資産合計	4,674,890	4,573,437
負債純資産合計	5,842,481	5,344,434

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	4,744,729	5,175,194
売上原価	3,359,679	3,649,450
売上総利益	1,385,049	1,525,743
販売費及び一般管理費	1,090,912	1,234,973
営業利益	294,137	290,769
営業外収益		
受取利息	16,105	16,979
持分法による投資利益	6,253	30,419
為替差益	－	1,360
補助金収入	15,164	730
その他	1,015	602
営業外収益合計	38,538	50,091
営業外費用		
支払利息	3,289	1,947
為替差損	934	－
営業外費用合計	4,223	1,947
経常利益	328,453	338,913
特別利益		
固定資産売却益	2,703	－
関係会社出資金売却益	11,483	－
投資有価証券売却益	62,746	－
特別利益合計	76,933	－
特別損失		
固定資産除売却損	369	0
特別損失合計	369	0
税金等調整前四半期純利益	405,016	338,913
法人税、住民税及び事業税	102,100	96,843
法人税等調整額	7,208	8,252
法人税等合計	109,309	105,095
四半期純利益	295,707	233,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	295,707	233,817

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	295,707	233,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,743	△4,839
為替換算調整勘定	△76,868	793
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,560	17,076
その他の包括利益合計	△125,173	13,030
四半期包括利益	170,534	246,847
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	170,534	246,847
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額(注１)	四半期連結損益計算書計上額(注２)
	再エネサービス	メンテナンスサービス	設計サービス			
売上高						
外部顧客への売上高	1,644,576	1,423,748	1,676,404	4,744,729	―	4,744,729
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	1,631	480	2,111	△2,111	―
計	1,644,576	1,425,379	1,676,884	4,746,840	△2,111	4,744,729
セグメント利益	169,574	196,897	285,971	652,443	△323,990	328,453

(注) １．セグメント利益の調整額△323,990千円は、セグメント間取引消去1,243千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,296千円及び営業外損益項目(持分法による投資損益を除く)28,062千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額(注１)	四半期連結損益計算書計上額(注２)
	再エネサービス	メンテナンスサービス	設計サービス			
売上高						
外部顧客への売上高	2,040,462	1,601,812	1,532,919	5,175,194	―	5,175,194
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	1,370	―	1,370	△1,370	―
計	2,040,462	1,603,182	1,532,919	5,176,564	△1,370	5,175,194
セグメント利益	190,709	333,959	219,324	743,993	△405,080	338,913

(注) １．セグメント利益の調整額△405,080千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△423,398千円及び営業外損益項目(持分法による投資損益を除く)18,318千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)
減価償却費	85,872千円	83,417千円